

令和8年第3回三芳町議会定例会 一般質問通告書

質問順序・質問者及び質問要旨

| 順序 | 質問者   | 質問要旨         | 質問内容  | 質問の相手                           |
|----|-------|--------------|---|---------------------------------|
| 1  | 内藤美佐子 | 1 成年後見制度について | 1) 本町における成年後見制度の利用者推移はどうか（過去5年間）<br>2) 任意後見制度については認知度が低いが、後見制度についてのセミナー等の必要があるのでは<br>3) 市民後見人制度の活用促進に向けた町の考えは<br>4) 市民後見人の育成・支援はどうか<br>5) 成年後見人や被後見人が各種通知等の送付先変更を一括して登録・変更できる仕組みはどうか<br>6) この仕組みを市民後見人制度の運用と組み合わせることで、担い手の負担軽減や活動継続を支え、本町における成年後見制度の基盤強化につながると考えるが今後の方針は  | 町長<br>福祉課                       |
|    |       | 2 高齢者福祉について  | 1) 終活支援について<br>①終活支援の必要性への見解は<br>②終活支援のニーズ調査の実施は<br>③エンディングノートの活用は<br>④遺言書、相続手続き、葬儀、空き家管理等が一括で相談できる「終活相談窓口」を地域包括支援窓口併設してはどうか<br>⑤デジタル遺品やSNSアカウント管理などの新たな課題に対する周知も必要では<br>⑥終活の重要性を周知するセミナー等の実施は<br>⑦最後の時を安心して迎えることができることへの町の支援は、重要な高齢者福祉と考えるがどうか<br>2) 三芳町敬老会について<br>①コロナ禍以降、「三芳町敬老会」を再開しない理由について、町はどのように整理しているか<br>②高齢者団体や行政連絡区を通して、地域高齢者の再開を求める声は届いているか<br>③今後、開催方法を工夫した上で再開を検 | 福祉課<br>健康増進課<br>福祉課<br>町長<br>町長 |

|   |       |  |  |                                       |
|---|-------|--|--|---------------------------------------|
|   |       | <p>3 子育て家庭支援について</p> <p>4 上富小学校統廃合後の跡地利用について</p> | <p>討する考えはあるか</p> <p>1) 子育てに不安・負担を抱えた子育て家庭への支援の現状について</p> <p>①多胎児育てへの支援</p> <p>②ヤングケアラー等がいる家庭への支援</p> <p>③精神的不安や悩みを持つ家庭への支援</p> <p>2) それぞれのニーズに合った支援ができているか</p> <p>3) こども家庭庁の「子育て世帯訪問支援事業」の実施は</p> <p>4) 訪問支援員の質を担保するための研修の実施は</p> <p>5) 利用者負担は無料または低額にしては</p> <p>1) 跡地利用で、地域コミュニティの維持の考えは</p> <p>2) 基本方針の策定が必要では</p> <p>3) 地域交流センター化の可能性はどうか</p> <p>4) 地域住民参加で、ワークショップの開催や協議会設置を検討しては</p>        | <p>こども支援課</p> <p>町長<br/>施設マネジメント課</p> |
| 2 | 桃園 典子 | <p>1 こどもの貧困解消に向けた取り組み充実と今後の展望について</p>            | <p>1) 「三芳町子どもの貧困対策推進計画」について</p> <p>①町のこどもの貧困率をどのように分析しているか</p> <p>②国や県の方向性として「支援が届かない・届きにくい子ども、家庭とつながることが重要」とあるが、町が取り組んでいることは</p> <p>③国や県の貧困率に照らし、当町では支援を必要とする児童生徒がどの程度つながれていると捉えているか</p> <p>④つながるための入り口として「居場所」の果たす役割は重要であると考えているが町の見解は</p> <p>2) 困難を抱える子どもたちの第三の居場所について</p> <p>①どのような居場所があるか</p> <p>②利用状況と効果をどのように捉えているか</p> <p>3) 困難を抱える子どもたちの第三の居場所との連携や課題について</p> <p>①町との情報共有や協議はどのように行</p> | <p>こども支援課</p> <p>福祉課</p>              |

|  |  |                                    |   |  |
|--|--|------------------------------------|---|--|
|  |  | <p>2「よみ愛読書のまち」事業を軸としたまちづくりについて</p> | <p>われているか</p> <p>②保護者・家庭が抱えている問題への支援と課題は</p> <p>③支援にあたる担い手の人材確保など事業継続性についての課題を町としてはどのように捉えているか</p> <p>4) こどもの貧困が教育に与える影響を鑑み「三芳町子どもの権利に関する条例」の理念に基づいた教育行政のあり方について町の見解は</p> <p>5) 生きづらさを抱える子どもの支援事業の重要性を鑑み、「三芳町こども計画」策定を機に、相談支援から居場所支援まで切れ目なくつなぐ官民連携の更なる取り組み強化を図ってはどうか</p> <p>1) 読書活動による教育的効果をどのように捉えているか</p> <p>2) 小中学校における読書活動について</p> <p>①読書活動の推進にあたっての工夫や課題は</p> <p>②主体的・対話的な学びにつながるビブリオバトルを各校で取り組んではどうか</p> <p>3) 第3次三芳町子ども読書活動推進計画の評価指標について（目標に対する状況の推移）</p> <p>①本を読むのが好きだという子どもの割合</p> <p>②学校図書館の1人当たりの貸し出し冊数</p> <p>4) 三芳町「よみ愛・読書のまち」宣言には毎月23日を「よみ愛・読書の日」と定め読書活動推進に取り組んでいるが、効果や課題は</p> <p>5) 読書活動のさらなる推進のため「ルミナみよし」において毎月23日に読書イベントを開催し動機付けをしてはどうか</p> <p>6) 図書館活動の推進として本の紹介ポップ作成など子ども達の活動の場を創出してはどうか</p> <p>7) バリアフリー書籍を推進する「りんごの棚」について</p> <p>①活用状況と課題について</p> <p>②「ルミナみよし」共用に合わせて「りん</p> | <p>教育長<br/>教育センター</p> <p>町長<br/>こども支援課</p> <p>学校教育課</p> <p>未来創造課<br/>学校教育課<br/>未来創造課</p> |
|--|--|------------------------------------|---|--|

|   |       |                          |  |     |
|---|-------|--------------------------|--|-----|
|   |       |                          | <p>ごの棚」の充実を図ってはどうか</p> <p>③共生社会推進のためにもニーズや関心のある方へ情報が届くようチラシ等を作成し周知しては</p> <p>8)「ルミナみよし」は読書活動推進はもとより、読書バリアフリーや多世代に渡る学びを得る生涯学習の拠点と期待されるが町が目指す方向性は</p>  | 町長  |
| 3 | 菊地 浩二 | 1 固定資産税の公平性の確保と課税適正化に向けて | <p>1) 全国の自治体の約97%、納税義務者の約0.2% (H24総務省調査結果)で固定資産税の課税誤りによる税額修正が行われているとされる。三芳町において過去に課税誤りや評価誤りはあったか</p> <p>2) その内容や発生原因は</p> <p>3) 納税者は納付書を信頼して納税しているが、課税誤りが判明した場合の対応は</p> <p>①原因分析や再発防止策、組織としての責任をどのように整理するか</p> <p>②何年前まで遡って対応するか</p> <p>③税額不足があった場合の対応は</p> <p>④過払いがあった場合の還付や還付加算金の対応は</p> <p>4) 固定資産評価には高度な専門知識が求められるが、評価の公平性や納税者の納得感を確保するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修</li> <li>・チェック体制</li> <li>・外部専門家の活用</li> <li>・納税者への説明</li> </ul> <p>などどのような取り組みを行っているか</p> <p>5) 納税者が固定資産税評価額の妥当性を確認するため、評価額の算出根拠を確認する方法はあるか</p> <p>6) 土地・建物について、3年に一度の評価替え以外に評価額が見直されるのはどのような場合か</p> <p>7) 老朽化や損傷が著しい建物について、固定資産評価額にはどのように反映されるのか</p> <p>8) 特定空家等に指定された場合の税負担への影響は</p> <p>9) 課税誤り防止のため、</p> | 税務課 |

|  |  |                               |  |   |
|--|--|-------------------------------|--|---|
|  |  | <p>2 都市計画税は法令に則って使われてきたのか</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・GISやデジタル技術の活用状況</li> <li>・職員体制や研修、技術・知識継承に課題はないか</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 三芳町が関係する都市計画法第59条の認可を受けた事業では富士見都市計画公園事業（新開公園・唐沢公園・北松原公園・俣埜公園）と下水道事業となっているが、今後この4つの公園事業に都市計画税を充当することは可能か</li> <li>2) 既に完了（終了）した土地区画整理事業に対して償還金以外に都市計画税を充当することは可能か</li> <li>3) 昭和63年度及び平成2年度に都市計画税は0.05%ずつ減税されている。その要因として「納税者の税負担の軽減を目的」「税収の好況」と答弁があったが、なぜ税収の好況時に減税が必要だったか。またその減税はなぜ都市計画税だったのか</li> <li>4) 法令上充当できる事業を精査すると、現在の0.2%税率は過大ではないか。少なくとも0.1%への減税を検討すべきではないか</li> <li>5) 都市計画道路事業では10年間で約6億円の都市計画充当額がある       <ol style="list-style-type: none"> <li>①都市計画税を充当するには都市計画法第59条の認可が必要では</li> <li>②なぜ無認可の都市計画道路事業に都市計画税が充当されてきたか</li> <li>③過去10年では約6億円だが、これまでの総額はいくらになるか</li> <li>④全額市街化区域内の道路整備に使われてきたか</li> <li>⑤認可を受けていれば充当できたが認可は受けていない。今後の整備に関し財源の予定は</li> </ol> </li> <li>6) 広域ごみ処理施設整備事業ではそもそもその施設は三芳町内には存在しない。       <ol style="list-style-type: none"> <li>①三芳町で認可の申請をすれば事業認可は受けられたか</li> <li>②法令上の都市計画税充当事業といえるか</li> </ol> </li> </ol> | <p>財政デジタル推進課</p> <p>税務課</p> <p>財政デジタル推進課</p> <p>環境課</p> <p>財政デジタル</p> |
|--|--|-------------------------------|--|---|



|  |  |  |   |   |
|--|--|--|---|---|
|  |  |  | <p>2) 所有者不明物件の管理責任について</p> <p>①管理主体が不在である所有者不明物件の管理責任の所在はどのように整理されているか</p> <p>②火災・漏水など近隣に影響を及ぼす事象が発生した場合、町が関与可能な範囲は</p> <p>③残置物の放置・劣化による住環境の悪化について町の考えは</p> <p>④空き巣や不法占拠等のリスクについて町の考えは</p> <p>3) 現行制度の課題について</p> <p>①三芳町空家等の適正管理に関する条例・令和5年に改正された空き家特別措置法では、管理主体が不在となっている所有者不明物件には対応しきれない課題があるか町の考えは</p> <p>②管理主体が不在となる所有者不明になった物件の対応を視野に入れた制度の再設計が必要と考えるかいかか</p> <p>4) 相続放棄の現状と町への影響について</p> <p>①相続放棄について相談があった場合の町の対応は</p> <p>②今後同様の相談が増えてきた場合、課を横断する課題として扱う仕組みがあれば社会のニーズに即した住民サービスに繋がると考えるかいかか</p> <p>③相続放棄により所有者不明のため利活用できない物件が増加することで住環境や景観の悪化、町のブランディングに影響するリスクも考えられるが、町の認識は</p> <p>④所有者不明になる前段階に町が関与できる取り組みとして、専門家と連携し、相続や所有する不動産の利活用について生前から相談可能なワンストップ窓口について今後検討する考えはあるか</p> <p>⑤住民が所有する不動産の寄贈を受け入れるためのルール整備について町の考えは</p> <p>⑥売買に限らず町内の活動団体への定期賃借など、幅広い方法での利活用をサポートする空き家バンクの設置を検討す</p> | <p>自治安心課</p> <p>環境課</p> <p>自治安心課</p> <p>総務課</p> <p>町長<br/>政策推進室</p> <p>自治安心課</p> <p>施設課</p> <p>町長<br/>政策推進室</p> |
|--|--|--|---|---|





|   |       |  |   |   |
|---|-------|--|---|---|
|   |       | 3 リチウムイオン電池等の回収について  | <p>あるか</p> <p>1 2) 統合に伴う児童の心のケアや、不安軽減に向けた支援体制は</p> <p>1) 本町におけるリチウムイオン電池等による発火事故や危険性について、どのように認識しているか</p> <p>2) 現在の回収方法及び回収場所は</p> <p>3) 町民への周知啓発について、どのように取り組んでいるか</p> <p>4) 三芳町役場や公民館等、より身近な公共施設で回収を行う考えはないか</p> <p>5) 高齢者など、ごみ分別が分かりづらい方への支援について、どのように考えているか</p> <p>6) 今後、更なる回収体制強化や安全対策について、どのように考えているか</p>   | <p>教育センター</p> <p>環境課</p>  |
| 6 | 吉村美津子 | <p>1 平和教育等について</p> <p>2 生活支援策について</p> <p>3 公共施設の存続について</p> | <p>1) 日本国憲法については授業でどのように教えているのか</p> <p>2) 授業内容に憲法第9条は含まれているのか</p> <p>3) 「軍事力の強化ではなく、話し合いでの解決」という考えを児童生徒に伝えるとともに、国に対しても提言してはどうか</p> <p>1) 憲法第25条の規定は、町民の生活へ生かされていると思うか</p> <p>2) 生活支援策に重点を置くため、多額の税金投入が必要な「道の駅」建設はやめるべきではないか</p> <p>1) 学校の統廃合計画は止めるべきではないか</p> <p>2) 学校廃止条例は地方自治法に則って、議員の3分の2以上の同意が必要と定めるべきではないか</p> <p>3) 児童館の考え方は</p> <p>4) 集会所の考え方は</p> <p>5) ふれあいセンターについての住民の意見はどのように聞いているのか</p> <p>6) 上富・北永井地域にふれあいセンターのような老人福祉施設を設置することの考え方は</p> | <p>町長<br/>学校教育課</p> <p>町長</p> <p>町長<br/>政策推進室<br/>総合調整幹</p> <p>町長<br/>学校教育課</p> <p>こども支援課<br/>自治安心課<br/>福祉課</p> |

|   |      |   |   |  |
|---|------|---|---|--|
|   |      | 4 熱中症対策について   | <p>1) 対策はどのように行うのか</p> <p>2) 低所得者への電気料金の助成をすべきではないか</p>   | 町長<br>健康増進課<br>福祉課   |
| 7 | 林 善美 | <p>1 安心して利用できるトイレ環境の整備について</p> <p>2 三芳町地域応援ふれあいクーポン事業について</p> | <p>1) 公共施設におけるトイレ数の現状をどのように認識しているか</p> <p>2) 女性用トイレの待ち時間や混雑状況について、現状把握は行っているのか</p> <p>3) 庁舎トイレの現状と課題は</p> <p>4) 公民館トイレの現状と課題は</p> <p>5) 集会所トイレの現状と課題は</p> <p>6) イベント開催時における女性用トイレの待機列への対応状況は</p> <p>①みよしまつり</p> <p>②三芳町文化会館</p> <p>7) 道の駅整備事業におけるトイレの配置について、道の駅の登録要件や女性用トイレに関する課題を考慮した設計になっているか</p> <p>8) 国においてもガイドラインがとりまとめられ、男女の利用実態の違いを踏まえたトイレ整備の必要性が示されている。今後の公共施設整備において、トイレの環境整備をどのような考え方で進めていくか</p> <p>9) 安心して利用できるトイレ環境の整備は優先順位が高く主要な課題であると考ええる。課題の認識は</p> <p>1) 第4弾の利用状況は</p> <p>2) 第1弾から第3弾までの利用率の推移は</p> <p>3) 利用者からはどのような声があるか</p> <p>4) 第4弾の登録店舗数は</p> <p>5) 第1弾から第3弾までの登録店舗数の推移は</p> <p>6) 登録店からはどのような声があるか</p> <p>7) 過去3回の実施で出た課題を基に、今回改善されたことは</p> <p>8) キャッシュレス化が進む中、電子クーポンを導入しなかった理由は</p> <p>9) クーポン事業をより利用しやすくなるた</p> | <p>施設づくり課</p> <p>公民館<br/>自治安心課</p> <p>自治安心課<br/>文化・スポーツ<br/>推進課<br/>総合調整幹</p> <p>施設づくり課</p> <p>町長</p> <p>観光産業課</p> |

|   |       |  |  |                                    |
|---|-------|--|--|------------------------------------|
|   |       |  | <p>めの方法として、電子クーポンの導入可能性は</p> <p>1 0) 所沢市のようにアプリまたは券での利用を利用者が選択できる電子商品券の導入を検討してはどうか</p>   | 町長                                 |
| 8 | 細田 三恵 | <p>1 学校における道徳教育の在り方について</p> <p>2 道の駅整備事業について</p> | <p>1) いじめ、暴力、SNSトラブル等を題材とした道徳教育について、判断が分かれるテーマを扱った具体的な授業例と、子どもたちの意見の傾向は</p> <p>2) 意見が分かれる場面において、教員はどのように整理・指導をしているか。また、その中で指導の難しさや現場の迷いは生じていないか</p> <p>3) 多様性を尊重することと、いじめや暴力などについて一定の規範を示すことの線引きを、学校として、どの程度まで善悪の価値観を示すことが可能と考えるのか</p> <p>4) いじめや暴力などについては、議論に委ねるのではなく一定の規範として明確に示す必要があると考えるが見解は</p> <p>1) 町として、本施設が継続的に来場者を確保し、売り上げ目標を達成するため、具体的にどのような経営努力や差別化を想定しているのか</p> <p>2) 住民説明会資料でも、経済波及効果や交流人口増加など多くのメリットが示されているが、一方で、巨額な財政負担、維持管理費、採算性、交通渋滞等のデメリットやリスクについて、どのように分析しているのか</p> <p>3) 概算事業費は約24～27億円、町負担は約17.5億円とされているが、今後の物価高騰等による更なる事業費増加の可能性についてどのように見込んでいるのか</p> <p>4) 年間売上高約3.8億円、町収入約700万円との試算が示されているが、来場者数や売上が想定を下回った場合のリスク管理について町として、どの程度の負担増まで許容する考えなのか</p> | <p>教育長<br/>教育センター</p> <p>総合調整幹</p> |

|  |  |                             |  |  |
|--|--|-----------------------------|--|--|
|  |  | <p>3子ども、子育て支援金の住民負担について</p> | <p>5) 周辺道路の交通渋滞や近隣住民の生活環境への影響について、混雑を避けるため営業時間を調整するとあるが、どのように対応するのか</p> <p>6) 社会情勢が不透明な中、多額の財政支出を伴う道の駅事業について将来にわたり、どのような責任を持って進めて行く考えか</p> <p>7) 世界農業遺産を活かした地域振興を図るのであれば、いきなり巨額な新規整備を行うのではなく、先日統廃合が決定した上富小学校の跡地など既存の公共施設を活用し、小規模な体験型交流事業等から段階的に実績や需要を検証していくべきと考えるが、見解を伺う</p> <p>1) 物価高騰が続く中で、さらなる住民負担増となることについて、住民への丁寧な説明や意見聴取を行うべきと考えるかどうか</p> <p>2) 「独身税」との批判もある本制度について、新たな不公平感を生むとの指摘があるが、町として制度の妥当性をどのように住民へ説明していくのか</p> <p>3) 本制度については、子育て世帯以外にも広く負担を求める制度設計となっているが、町として国に対し制度の再考を求める考えはあるか</p> <p>4) 子ども・子育て関連事業について</p> <p>①本町における子ども・子育て関連事業について、事業総数及び総事業費は</p> <p>②その財源内訳について、国費・県費・一般財源それぞれの額は</p> <p>③そのうち、法令に基づく義務的事業を除いた町単独事業について、事業数及び事業費は</p> <p>④本町では、子ども・子育て関連事業について、主としてどのような成果を目的として実施しているのか</p> <p>⑤各事業について、KPIの設定や評価はどのように行っているのか</p> <p>⑥EBPM、いわゆる証拠に基づく政策立</p> | <p>町長</p> <p>町長</p> <p>住民課</p> <p>こども支援課</p> |
|--|--|-----------------------------|--|--|

|   |       |             |   |                                   |
|---|-------|-------------|---|-----------------------------------|
|   |       |             | <p>案の観点から、事業の見直しや廃止を行っているのか</p> <p>⑦町単独事業や団体補助事業等について、事業の廃止又は削減を行い、その財源を税や社会保険料など住民負担の軽減に充てるべきと考えるが、町の見解は</p> <p>5) こども誰でも通園制度について</p> <p>①「こども誰でも通園制度」について、町における実施状況は</p> <p>②本制度については、保育室の環境整備や保育士不足、保育の質の確保が難しいとの懸念がある、町としてどのような認識を持っているのか</p>   | <p>町長<br/>政策推進室</p> <p>こども支援課</p> |
| 9 | 小松 伸介 | 1 P T Aについて | <p>1) P T Aについて</p> <p>①P T Aの意義と果たす役割についての認識は</p> <p>②教育委員会との関わりは</p> <p>③加入のメリット・デメリットは</p> <p>④未加入のメリット・デメリットは</p> <p>2) 町内小中学校の状況について</p> <p>①各校の加入状況の推移は（過去3年間）</p> <p>②未加入による児童生徒への影響は</p> <p>③未加入等でこれまでトラブルはなかったか</p> <p>④各校の会費は</p> <p>⑤本来町が負担すべき費用が会費で賄われていないか</p> <p>⑥規約や会費、役職等見直しの実施状況は</p> <p>⑦各校の活動状況は</p> <p>⑧保護者や教職員から負担や課題、改善要望等の意見は</p> <p>⑨これまで行われてきた改善点等はあるか</p> <p>⑩P T Aの現状をどう認識しているか</p> <p>3) 今後の負担軽減等の対策について</p> <p>①会員減が進んだ場合、考えられる影響は</p> <p>②会員増に向けどんな取組みが考えられるか</p> <p>③これまで参考にした他自治体等の好事例はあるか</p> <p>④P T O・P T C Aに対する見解は</p> <p>⑤より良い組織運営とするため今後の考えは</p> | <p>学校教育課</p> <p>教育長</p>           |



|  |  |                         |   |                                |
|--|--|-------------------------|---|--------------------------------|
|  |  | <p>2 ふれあいセンター事業について</p> | <p>くリスクは</p> <p>3) 住民アンケート、住民説明会等で町民との合意形成は十分に取れているのか</p> <p>4) 併設するミュージアム、シアタールームについて</p> <p>①コンテンツの制作、更新や維持管理に掛かる費用は</p> <p>②イニシャルコスト、ランニングコスト、設備更新等の計画は</p> <p>③三芳町単独で当施設を整備する理由は</p> <p>5) 渋滞対策について</p> <p>①現交通量に対し、施設整備後の周辺道路交通量の増加予測は</p> <p>②ピーク時の交通量や渋滞、周辺地域への影響等を想定したシミュレーションは出来ているのか</p> <p>③周辺道路、周辺住宅地内等、抜け道に利用されないための対策は</p> <p>④渋滞回避のための予測される整備は（ハード・ソフト）</p> <p>1) ふれあいセンター移転に伴う住民交流スペースについて</p> <p>①交流室を間借りする形になるが高齢者が自由に利用できる広さや高齢者施設としての独立性が確保できるのか疑問。実質的な機能縮小により住民の居場所が失われるのではないのか</p> <p>②面積や設備の詳細は（既存のふれあいセンターとの比較も含む）</p> <p>③新施設交流室利用は全高齢者、全老人クラブ対象なのか</p> <p>2) 町民活動・高齢者利用の影響について</p> <p>①老人クラブや、各種サークル、団体等、新施設の交流室でこれまで同様の活動が出来るのか</p> <p>②利用枠の減少や予約の競合等の問題が予想されるが、その場合代替施設や支援は考えているのか</p> <p>3) 移転に関する住民への周知、意見聴取について</p> <p>①利用している高齢者、団体に対し周知や</p> | <p>道路交通課</p> <p>町長<br/>福祉課</p> |
|--|--|-------------------------|---|--------------------------------|

|     |       |                             |   |                                     |
|-----|-------|-----------------------------|---|-------------------------------------|
|     |       |                             | <p>意見聴取が十分に行われていないように感じるが、納得してもらえているのか</p> <p>②施設を利用する高齢者や団体が不安、不満を感じないよう対策は考えているのか</p> <p>③今回の移転をもって高齢者福祉機能を持つ施設の最終形と考えているのか</p> <p>4) 移動支援について</p> <p>①送迎バス廃止により参加をやめる、参加者が減少する懸念の声が上がっているが、どのように捉えているか</p> <p>②突然に送迎バスを廃止するのではなく、今まで同様の形態をとる考えは</p> <p>5) 高齢者が終日過ごせる独自の居場所づくりとして、新規高齢者施設の建設、計画にある施設の統合、整理、各行政連絡区の集会所の縮小に伴う、集会所や空き家の利活用等での高齢者施設整備の考えは</p> |                                     |
|     |       | 3 町長の公費による海外渡航の頻度と費用対効果について | <p>1) 近隣自治体、その他自治体と比較し、渡航頻度と費用が妥当と考えるか</p> <p>2) 公費を用いた海外渡航に投じた総費用と妥当性についてどのように捉えているか</p> <p>3) 海外渡航したことによる具体的成果は(成果・経済効果等)</p> <p>4) オンライン会議システムや国、現地関係機関の活用など、代替手段の活用はできなかったのか</p> <p>5) 町民への理解を得るための説明が必要と考えるがどのように捉えるか</p> <p>6) 全町民に還元できていることは</p>   | 町長<br>秘書広報室                         |
| 1 1 | 光下 重之 | 1 令和8年度予算と町独自の物価高騰対策等について   | <p>1) 非正規労働者の待遇改善について</p> <p>①自治体により会計年度任用職員時間給の差はないか</p> <p>②2026春闘の「すべての非正規労働者に時給1500円」の要求をどう意識しているか</p> <p>③町内介護事業所の賃金水準比較をしたことはあるか</p> <p>④町独自支援は考えているか</p> <p>2) 教育の負担軽減について</p> <p>①令和8年度の中学校の学校給食費に対する対応は</p>  | 町長<br>総務課<br><br>健康増進課<br><br>学校教育課 |

|     |       |                      |   |   |
|-----|-------|----------------------|---|---|
|     |       |                      | <p>②中学校学校給食費無償化へグレードアップする考えは</p> <p>3) 食料と農業について</p> <p>①資材・燃油等高騰への農業支援をいっそう強めることは</p> <p>②遊休農地対策の問題点は</p> <p>4) SDGsゼロカーボンシティ宣言と省エネ・再エネについて</p> <p>①ゼロカーボンシティ宣言後の取り組みの前進はあるか</p> <p>②町独自の支援制度の展開は</p> <p>③「2050カーボンニュートラル」実現の宣言にふさわしい取り組みを考えているか</p> <p>④資源循環型社会実現に関わり不法投棄ゴミ処理の展望は</p> | <p>観光産業課</p> <p>環境課</p>                                   |
|     |       | 2 大学生等の地方定着の促進について   | <p>1) 町のインターンシップに関する施策について、町に若者を呼び込む政策は</p> <p>2) 国の施策をどう考えているか</p>   | 政策推進室   |
| 1 2 | 増田 磨美 | 1 藤久保地域拠点施設整備等事業について | <p>1) 藤久保地域拠点施設整備等事業の本日までの進捗状況は</p> <p>2) 施設引き渡し日は令和8年6月末日か</p> <p>3) 金利確定日は2営業日前となるかどうか</p> <p>4) 補助金の申請は令和何年までか</p> <p>5) 今後の補助金の各年申請予定額は</p> <p>6) 2期工事の日程、予算に変更はないか</p> <p>7) 住民への最終的な事業費の説明及び報告はいつ頃、どのように行う予定か</p>   | 町長<br>施設づくり課  |
|     |       | 2 ルミナみよしの利用について      | <p>1) コミュニティスペースに民間施設の予定は</p> <p>2) 多目的ホールの椅子はどこに設置されるのか</p> <p>3) 現公民館の利用者から予約が難しいとの意見があるか聞いているか</p> <p>4) ふれあいセンターの機能移転だけでよいのか</p> <p>5) 現ふれあいセンターの利用者の声は</p> <p>6) ふれあいセンター利用方法のわかりやすいリーフレットなどを配布すべきでは</p> <p>7) 住民の立場に立った運営、利用方法を考えるべきでは</p>  | <p>町長<br/>施設づくり課</p> <p>未来創造課</p> <p>福祉課</p> <p>未来創造課</p> |

|    |      |                  |  |             |
|----|------|------------------|--|-------------|
|    |      | 3「道の駅整備事業」について   | <p>1) 要求水準書について</p> <p>①建物の外観に三芳町らしさを連想させる意匠を凝らすなどデザイン性を考慮とあるがどのようなイメージか</p> <p>②防災の視点から、かまどベンチ等の設置は</p> <p>③風力・太陽光ハイブリッドの街路灯の設置は</p> <p>④没入型シアターゾーンに関しては入場料も考えているのか</p> <p>⑤ミュージアムに町の職員を配置とあるが説明員か</p> <p>⑥SPCを設立しない場合でも町の事業者は優先的に事業に参入できるのか</p> <p>2) 事業費について</p> <p>①補助金の申請額内示率について試算はしているか</p> <p>②概算事業費の積算根拠は</p> <p>③藤久保地域拠点施設整備等事業費の増額を受けて「道の駅整備事業」について重要政策会議は開かれたのか</p> <p>④物価、資材費、人件費の高騰、資材不足、さらに金利までが上がる中、計画を進めてよいのか</p> | 町長<br>総合調整幹 |
| 13 | 本名 洋 | 1 三芳町道の駅整備事業について | <p>1) 町広報掲載「道の駅」整備事業について</p> <p>①国からの交付金はどの程度見込めるのか</p> <p>②「安定的な町の収入源」となり得るのか</p> <p>③「110億円の経済波及効果」というのは過大な表現ではないか</p> <p>④出入口が2か所で渋滞緩和になるのか</p> <p>2) ふじみ野市と情報共有できているのか</p> <p>3) 採算性など、なぜ懸念の声に耳を傾けようとならないのか</p>  | 町長<br>総合調整幹 |
|    |      | 2 未来創造拠点について     | <p>1) 図書館は引き続き社会教育施設という位置付けか</p> <p>2) 地域交流センターについて</p> <p>①公民館との連携はどのようにとっていくのか</p> <p>②教育委員会との関わり・連携は</p> <p>③社会教育の機能維持のためにどのような担保措置を講じるのか</p>   | 町長<br>未来創造課 |

|  |  |                             |  |                      |
|--|--|-----------------------------|--|----------------------|
|  |  | <p>3 教職員の働き方改革と負担軽減について</p> | <p>④公民館としての機能を維持するために法的位置づけが必要では</p> <p>3) 未来創造拠点施設の設置及び管理に関する条例に「社会教育」という言葉が無いのはなぜか</p> <p>1) 「三芳町立小・中学校における働き方改革基本方針」で目標としている「【時間外在校等時間】月45時間以内、年360時間以内の教員数の割合を令和9年度末までに100%」は可能か</p> <p>2) 保護者対応について</p> <p>①学校任せにせず教育委員会として取り組んでいるか</p> <p>②首長部局との連携を行っているか</p> <p>③PTAの休止は教職員の負担増にならないか</p> <p>3) 教職員の健康管理について</p> <p>①課題は無いか</p> <p>②うつで休職、「ストレスチェック」で予測は困難との報道があるが、町教育委員会ではストレスチェックをどのように活用しているか</p> | <p>教育長<br/>学校教育課</p> |
|--|--|-----------------------------|--|----------------------|